

経歴

昭和31年 3月 北海道後志郡古平町港町で出生
昭和54年 4月 北海道歯科技術専門学校入学
昭和56年 3月 同校卒業、同校専任教員として採用
昭和61年 4月 北海道大学歯学部研究生、
日本歯科技工学会入会
平成 4年 4月 北海道大学歯学部歯科技工学講座研究生
平成 4年 8月 日本歯科技工学会第14回学術大会発表
(於、札幌教育文化会館)
平成 5年 9月 日本歯科技工学会最優秀論文賞受賞
(於、大阪歯科大学天満橋校舎)
平成 9年 10月 北海道大学歯学部歯科技工学講座研究生
平成10年 11月 第3回国際歯科技工学術大会招待講演
平成11年 8月 日本歯科技工学会生涯研修認定講師就任
平成12年 2月 日本歯科技工学会認定士就任
平成13年 4月 北海道大学大学院歯学研究科博士課程入学

平成15年 8月 日本歯科技工学会Dental Material Senior Adviser認定
平成17年 3月 北海道大学大学院歯学研究科博士課程修了、博士(歯学)
北海道大学7223号取得
平成19年 4月 北海道歯科技術専門学校付属歯科技工研究所長就任
平成22年 4月 北海道歯科技術専門学校副校長就任、
(一社)日本歯科技工学会理事就任
平成23年 4月 日本歯科技工学会認定士審査委員会委員就任
(公社)日本歯科技工学会認定講師審査委員会委員就任
平成26年 10月 日本歯科技工学会北海道・東北支部長就任
平成27年 4月 歯科技工士国家試験委員就任(実地試験)
平成30年 3月 北海道歯科技術専門学校定年退職、
嘱託職員として採用、現在に至る。
平成30年 4月 日本歯科技工学会功労賞受賞
(於、大阪歯科大学樟葉校舎)

歯科技工士として初！
歯科技工学会功労賞 受賞

岩崎 佳治 副校長は本校2期生で卒業後は専任教員として37年間勤務し、今年3月に定年を迎えました。一道内では唯一歯科技工士で歯学博士号を取得し、今年4月には歯科技工士としては初めて「日本歯科技工学会功労賞」を受賞致しました。今回の受賞に際してコメントを頂きましたので、ご紹介致します。

日本歯科技工学会功労賞を受賞して

副校長 岩崎 佳治

平成30年4月14日 第71回日本歯科技工学会学術大会が大阪歯科大学樟葉校舎で開催され、学会長河合達也 先生から功労賞を受賞いたしました。この賞は、30年以上歯科技工学会に所属し、学会の発展に寄与した者で所属組織を退職する人が対象のようです。私も昭和61年、当時の北大歯学部歯科技工学教室の教授太田守先生から歯科技工学会に誘われ、以来32年間会員を続け、このように長きに亘り歯科技工学会に所属できたのも、毎年の全国大会に参加させていただいた本校関係者のご理解とご協力があったお陰と深く感謝いたします。

さて、私が本校に奉職したころは、歯科技工学の確立が話題となっており、歯科技工学会活動が今以上に盛んだったと思います。全国にある歯科技工士養成校の教員が歯科技工学会で競って発表を行っていた時代でした。そんな中、平成4年に第14回日本歯科技工学会学術大会が札幌で開催され、何か発表しろと上司のプレッシャーもあり北海道大学歯学部歯科技工学講座の研究生になり、大川昭治先生のご指導を頂きながら、金銀パラジウム合金の鑲付部の疲労強度の演題で口頭発表を行い、日本歯科技工雑誌に投稿しました。その論文が最優秀論文賞を獲得し、翌年、大阪歯科大学天満橋校舎で表彰されました。これが第3回国際歯科技工学術大会招待講演に繋がり、日本歯科技工学会の生涯研修講師に就任し、日本歯科技工学会の認定講師に繋がることになりました。また、太田教授後任の巨理文夫教授もこの論文をご覧になり、大学院歯

受賞の盾



学研究科に新設された社会人特別入学制度を活用して、大学院に進学するよう強く勧められました。当時の本校経営陣から合格出来るのであれば援助するとチャレンジの許可が出ました。歯学部は大学院受験資格は、高校卒業後6年以上の高等教育が必要で、私の場合は大学2年、専門学校2年、北大での研究生がトータルで2年半の合計6年以上あり、北大歯学部教授会で受験資格が認められました。実際の入試では辞書持込で英語の試験を受け、論文試験と面接試験を受けました。3月上旬に45歳で合格を確認した時、はるか昔の浪人時代に勉強したことが、このような形で役立つとは夢にも思いませんでした。医科歯科大学名誉教授故神沢康夫先生が仰った「人生3万日の定理」を実感した瞬間でした。なるべく多くのことを若いころに体験、経験しておくことは本当に大切なことだと思います。

大学院では、歯科技工用レーザー溶接について研究を開始しました。本校の勤務が終了してから登院し、土曜日、日曜日は朝から研究室に入りました。研究内容は、チタン板を使用しレーザーによる溶接変形や歯科用貴金属とチタンのレーザー溶接強度などを測定し、日本歯科技工学会学術大会で3度の口頭発表と日本金属学会誌欧文誌(JMM)および日本歯科技工学会欧文誌(JMTC)に投稿した論文が受理されました。これで大学院修了規定を満たし、主査、副査による最終審査を無事終了し歯学博士号(北大7223号)を取得いたしました。歯科技工用レーザー溶接機を研究のために購入した巨理教授、また、直接ご指導いただいた大川昭治先生、宇尾基弘先生、ロスカ先生、赤坂司先生、菅原敏枝官に衷心からのお礼を申し上げます。

最後になりますが、この度、功労賞を受賞することができたのは、本校関係諸兄の絶大なご理解、ご協力と恩恵結花の協力の賜物と深く感謝申し上げます。

3月卒業 アンナさんが
道新に掲載されました！

3月4日の北海道新聞の朝刊に、言葉の壁を乗り越え、今年晴れて卒業したアンナさんについての記事が掲載されました。アンナさんはロシアのサハリン州出身で、2004年に日本人男性と結婚しました。現在は男の子2人のママで、札幌市に在住しています。16年春に幼少期から夢見ていた歯科技工士を目指すため、本校に入学しました。2年間の学校生活は、日本語の勉強から始まり、入学前に日本語学校に半年通って準備をしたものの、専門用語などの漢字は難しく、教員に頼んで教科書にふりがなを付けてもらいながら、寝る間を惜しんで勉強しました。

そんな努力が実を結び、学年でトップクラス、全国模擬試験では上位10位に入るほどの実力をつけ、2月に受験した国家試験にも無事に合格しました。また、3月8日の道新の夕刊「まごころ」には、卒業までの2年間担任として支え続けた恩師で、結婚を期に3月で退職された藤山先生との絆について掲載されました。

卒業式当日、「先生がたのおかげです。今後とも勉強をして、歯科医師から指名される歯科技工士になりたい」と今後の目標を熱く語っていたアンナさん。現在は道内最大手の株式会社札幌デンタルラボラトリーに就職し、子育てと両立しながら新米歯科技工士として更なる夢実現のために忙しく勤務されています。

歯科技工士の夢実現へ

専門学校卒業 猛勉強実る

札幌在住のロシア人女性



ロシア・サハリン州出身で、札幌市在住のロシア人女性アンナ・ペスコワさん(38)が3日、北広島市の北海道歯科技術専門学校を卒業した。日本語の壁を努力と周囲の支援で乗り越え、今春から歯科技工士として札幌市内で働く予定だ。(津野慶)

編集後記

9月6日(木)に発生しました平成30年北海道胆振東部地震で被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。北広島市も最大震度5弱を観測しましたが、幸いにも学生、教職員ともに全員無事で学校も物が散乱したくらいで、大きな被害はありませんでした。発生直後より続いた停電も7日(金)夜に解消され、台風21号の被害があった5日(水)から臨時休校が続いていましたが、10日(月)より授業を再開することが出来ました。ご心配くださった皆様には心より御礼申し上げます。さて、記事にもあるように、岩崎副校長が3月で定年を迎えました。62歳の今も尚、教鞭をふるう姿、学生に彫刻をデモする姿はまだまだ現役そのもの！親父ギャグにもますます磨きがかかっています。笑。これからも引き続き、副校長そして看板教員として、幅広く知識と経験を未来のプロフェッショナル達に託して頂きたいと思えます。4月に受賞された歯科技工学会功労賞受賞のコメントとアカデミックで輝かしい経歴も掲載しましたので、是非ご覧下さい。さて学校は就活シーズンですが、ほど良い緊張感の中で着実に準備を進め、ありがたいうちに、すでに始まる学生が内定をいただいております。これはやはり本人の努力だけでなく、タイミングや相性もありますので、焦る気持ちやグッと抑えて、自分の能力を存分に発揮出来る、いきいきと働ける進路を選んで欲しいと思います。そして内定は決してゴールではなく、社会人としてのスタート地点です。将来を見据えて明確な目標を掲げて下さい。今後はがむしゃらにやるだけではダメです。正しい場所で正しい方向に努力をして下さい。皆さんが充実した良い人生を歩めるように学校は応援し続けます。編集担当

OPEN CAMPUS

時間 10:00～14:00(ランチ付き)

Xmasスペシャル開催 12/15(土)

★特別実習、豪華プレゼント、ケーキ等

2/2(土) 3/27(水)

- 交通費補助 500～10,000円
- 保護者説明会同時開催
- 体験実習 & 模擬授業
- 個別相談会
- 校内ツアー
- 豪華オリジナルグッズプレゼント

お申し込みは
HPから簡単に
出来ます。

タマゴ & ヒヨコのキモチ
元気いっぱい、夢いっぱい！未来のスペシャリストに突撃インタビューしました☆



本科1年生 代表
恵庭南高校出身
まつばら
松橋 ひかりさん

Q 歯科技工士を目指したきっかけ
高校1年生の時に職業進路学習の時間に、歯科技工士の講話を聞いたのがきっかけです。もともと医療系の分野に興味があり、いい職業だなと感じて興味を持ちました。

Q 好きな教科と苦手な教科、勉強のコツは？
実技では歯冠、学科では理工学です！苦手なのは実技・学科共にフルデンチャーです(笑)勉強する際に必ずやることは、教科書を読み込んで大事な部分をマーカーでチェックして確認します。

Q 学校生活で楽しいこと、2年生に向けての意気込み♪
休み時間やお昼に友達と過ごす何気ない時間が楽しいです！！2年生に向けては苦手教科を克服出来るように頑張りたいと思っています。



本科2年生 代表
伊達高校出身
こばやし あみ
小林 亜美さん

Q 学校生活で印象深かったこと
2年生になってから初めて彫刻を本格的に取り組むようになりました。改めて「歯」と向き合ってみて難しさはもちろんですが、奥深さ・面白さを実感しました！

Q 初めてのひとり暮らし！感想は？
学校のすぐそばのアパートに住んでいます。実は不安よりもわくわくのほうが大きかったので、自由を満喫しています♪

Q 国家試験に向けた意気込み！！卒業後の目標
学科は少し苦手なので、勉強を頑張ります(笑)あと実技では屈曲がまだまだ特訓が必要なので本番までに克服したいです。先日第一志望の会社に内定を頂きました！！正直、自分が社会人になる実感が沸かないのですが、早く実践でお役に立てるようになりたいと思っています！



研究科性 代表
弟子屈高校出身
ありま あきひろ
有馬 彰宏さん

Q 研究科に進学を決めた理由は？
高校生の時には研究科に進学することを決めていました！様々な講義や臨床ケースを通してスキルアップして自信を付けてから就職したかったので。

Q 印象に残った授業
現役バリバリでご活躍されている小栗先生の授業です。ミリングデンチャーを初めて製作した事と、先生の人柄と話が面白くて大変印象に残っています。完成まで3日間くらいかかり、適合は納得いくものではありませんでしたがすごく勉強になりました。

Q 就職後の目標
まずは会社の方々に早く顔を覚えて頂く為に、積極的にコミュニケーションと取っていきたいと思います。そして先輩の技術を見て盗む！くらいの意気込みで、早く仕事を覚えて技術を磨きたいですね。

KITAHIROSNAP

学校の日常♪

4/7 (土) 入学式



7/6 (金) 体育大会



9/14 (金) ボーリング大会

